

第 6 号刊行によせて

このたび、一橋ローレビュー第 6 号が刊行される運びとなりました。

ローレビューのメインコンテンツである投稿論文は、元々、法学研究（旧法学研究基礎）という授業で執筆したリサーチペーパーです。法科大学院 3 年次の余裕がないなかで、リサーチを積み重ね執筆したリサーチペーパーを修了後にさらに手直しし、所定の審査を経て、投稿論文が完成しています。本号でも 4 本の力作が揃いました。投稿者の皆さんは、優れたリサーチ能力を兼ね備えた法律家になるための努力を惜しまれませんでした。その真摯な姿勢に、敬意を表します。

豊かな研究が教員のみならず学生によっても、しかも至るところで展開されているという環境が、法科大学院の地力を示すことはいまでもありません。これを目にする現役及び将来の在学生の皆さんが後に続いてくれることを期待します。

本号では投稿論文に加えて、修了生である OB・OG による法科大学院で学んだことや現在の仕事に関するエッセイと、法科大学院創設以来長きにわたり法科大学院教育にご尽力され元法科大学院長も務められた滝沢昌彦一橋大学名誉教授（現・法政大学法学部教授）の最終講義（2023 年 1 月 27 日開催）も収録されています。投稿論文以外のコンテンツにも編集委員の創意工夫が現れており、本誌の魅力の 1 つとなっています。併せてご覧ください。

本号の刊行においては、但見亮教授、酒井太郎教授、石田剛教授（前法科大学院長）、そして編集委員である赤木修一郎さん、武井祐樹さん、中野宗一郎さん、山井聡也さんのご尽力がありました。記して感謝申し上げます。

2024 年 3 月

本庄 武

（一橋大学法科大学院長）